

戦争と平和 (1947)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1947/07/22

【解説】

記録映画作家の亀井文夫が初めて監督した劇映画であり、山本薩夫が協同監督を担当し完成させた。GHQの指示により製作された、戦争放棄をテーマとした新憲法発布記念作品。

太平洋戦争で輸送船が沈没、小柴健一は中国沿岸で漁夫に助けられた。妻の町子のもとには夫の戦死が伝えられ、幼い息子を持つ彼女はショックを受ける。強制疎開させられた町子と息子の茂男は大邸宅のガレージで住まうようになるが、そこへ幼なじみの康吉が現われ、町子に結婚を申し出る。やがて三人の生活が始まるが、空襲のショックから康吉が精神に異常を来してしまう。終戦を迎え、中国にいた健一が無事に帰還してきた。八年ぶりに町子を偶然見つけた健一だったが、すでに町子は康吉の子供を宿していた。

【クレジット】

監督 山本薩夫

亀井文夫

製作 伊藤武郎

脚本 八住利雄

撮影 宮島義勇

美術 河東安英

音楽 飯田信夫

出演 池部良

岸旗江

伊豆肇

菅井一郎

谷間小百合

立花満枝